

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-75	中学校	技術・家庭	技術・家庭(家庭分野)	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
6・教図	家庭 006-72	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する		

1. 編修の基本方針

教科書のコンセプトは「つなぐ、つながる」

生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、技術革新などによって、生活や社会の環境はますます変化しています。これから生きる生徒には、自らの力で未来を切り開き、諸問題に対応していく知識や豊かな心、態度が求められています。本書は家庭分野の学習を「つなぐ、つながる」をテーマに、小学校の学びから未来の学びへのつながり、家族や地域・社会・地球環境とのつながりを意識し、時代の変化に柔軟に対応できる力を育成することを目標に編修しました。

① 家族、地域、世界 とつながる教科書

教科書のコンセプトは「つなぐ、つながる」。中学校の学びは小学校までの学びからつながり、日々の生活改善につながっていきます。家族との関係や学校の友達とのつながり、世代や立場、背景の異なる人とのつながりを通じて学びを深めていけるように工夫しています。

② 生活課題の発見から解決 までサポートする教科書

各学習は「見つめる」の導入から始まります。日常で感じる小さな疑問や共感、驚きから生徒の興味・関心を引き出します。

自分と学習を関連づけながら、家庭分野の内容に入っていくことができるので、生徒一人一人が主体的に取り組むことができます。

③ 体験や実践を通じて 生きる力を養う教科書

実感を伴った学びになるよう、豊富な実習例を掲載しています。体験から得られる実践力が身につくので、学びを通して達成感や自己肯定感を養うことができます。

また、実習の際に重要になる安全や衛生についての意識を高められるように工夫しています。

ガイドンス つなぐ、つながる **家庭分野**

これから3年間の技術・家庭科 家庭分野の学習が始まります。家庭分野の学習は、おもに小学校家庭科の学習や、家庭での実践が基礎になります。

3年間の学習は、1年生→2年生→3年生というように、積み重なり、つながり、深まっていきます。そして、中学校を卒業してからも、高等学校家庭科の学習や、家庭、社会での生活にもつながっていきます。

私たちの日々の生活や行動は、地域やまわりの人たち、健康・快適・安全な生活、生活文化、自然環境と、さまざまなかたちでつながっています。これから学ぶ家庭分野の学習を、「つながり」をキーワードにみてみましょう。

伝統をつなぐ
生活文化の継承・創造
生活文化を受け継ぎ、つなぐ大切さに気づき、工夫してみましょう。
山形県の郷土料理「いちもんめ」
地域の伝統行事「お盆踊り」

人と人をつなぐ
協力・協働
みなさんの地域には、どのような人が住んでいますか？
高齢者、幼い子どもなどさまざまな人とつながり、支え合いながら生活することについて考えてみましょう。
大塚区公民館
ご近所あそび隊と地域活動
（大塚区公民館）

生活と環境をつなぐ
持続可能な社会の構築
地球温暖化、資源、国際競争など、世界には多くの課題があります。さまざまな課題を解決し、持続可能な社会をつくるために、2015年に持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）が決められました。2030年までの達成を目指す、17の世界共通の目標は、私たちの生活とつながっています。何ができるか考えてみましょう。
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
1. 貧困 2. 健康と福祉 3. 質の高い教育 4. 働きがい 5. 性別平等 6. 清潔な水と衛生 7. 持続可能なエネルギー 8. 豊かになりつつある社会 9. 産業と革新 10. 気候変動に一致 11. 持続可能な都市とコミュニティ 12. 消費の責任 13. 気候変動 14. 海洋資源 15. 陸域生態系 16. 平和と正義 17. パートナーシップ

健康・快適・安全
健康で快適、安全な生活とはどのようなことでしょうか？ よりよい生活につながる工夫をしてみましょう。
快活で安全な住まい方

衣類のリサイクル・リユースボックス

※この教科書の内容については、国連の目標を基にものではありません。また、国連や国連の発展を促進したるものではありません。

1

ガイドンス
(口絵 11-p.1)

2. 対照表

教育基本法に対応した教科書の構成・内容

図書の構成・内容①「学びを生かそう」コーナー

「個人の価値を尊重して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う（第2号）」ために、生活の中の課題を、ステップに沿って解決する力を養う「学びを生かそう」のページを設けました。身近な生活の課題を自主的に捉え、具体的な実践を通して「思考力・判断力・表現力」の育成を図ります。

学びを生かした実践は「幅広い知識と教養を身に付ける（第1号）」ことにつながります。

学びを生かそう

1 私たちの消費生活

2 学びをふり返し、自分に何が足りないか考えます。

3 理解しやすいように実践例を掲載。

4 ステップに沿って課題解決に導きます。

5 自分なりの課題を見つけ出します。

6 生活の改善と次の課題探しに向かいます。

(p.32-33, p.246-247 など)

図書の構成・内容②「センパイに聞こう！」コーナー

「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う（第2号）」ために、家庭分野の学びとかがわる、さまざまな分野で活躍する方からのメッセージを掲載しました。

日本最高齢
フィットネス
インストラクター
(p.35)

防災アプリの
開発者
(p.221)

フィギュアスケートの
衣装デザイナー
(p.197)

など

図書の構成・内容③ 重要箇所がよくわかる、さまざまな「マーク」

家庭分野で学ぶ内容の中でも、特に注目してほしい学びについて、以下のような個別のマークを入れてわかりやすく示しています。「男女の平等、公共の精神（第3号）」について考えることのできる「共生」マークや、「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度（第4号）」を養う「環境」マーク、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する（第5号）」ことに役立つ「伝統文化」マークなどがあります。

共生
◀さまざまな人と支え合うことを示す共生マーク
(p.73 など)

環境
◀持続可能な社会を実現するための環境マーク
(p.174 など)

伝統文化
◀日本の伝統文化をつないでいくための伝統文化マーク
(p.55 など)

など

「幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養う（第1号）」ために、他教科や小学校など、ほかの学習との関連性を示す「関連」マークを掲載しました。カリキュラムマネジメントにも役立ちます。

また、教育基本法のさまざまな目標を実現させるため、家庭分野の学びとSDGsと関連づけた「SDGs」マークが各学習項目を結びつける手助けをします。

関連
◀他教科や小学校などとのつながりを示す関連マーク
(p.20, p.74, p.172 など)

1 目標を
なくそう
◀17のゴールのどこと関連するかを示すSDGsマーク
(p.222 など)

教科書の各章と教育基本法の関係

【巻頭・ガイダンス】

「伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養う」ために、日本の伝統的な年中行事を行事食などとともに写真やイラストで紹介するなど工夫しました（第5号）。また、「幅広い知識と教養を身に付ける」ため、小学校の学びをふり返り、中学校の学びにスムーズにつながるよう構成されています（第1号）。

特に意を用いた点や特色



▲日本の伝統的な年中行事や行事食の紹介（口絵3-8）



▲他国の伝統的な衣食住に触れる（口絵9-10）



▲小学校家庭科と中学校3年間の学習の見通しを持たせるガイダンス (p.4-5)

【A編 家族・家庭生活】

「男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う」ために、男女共同参画社会に関するコラムを掲載しました。また「公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画する態度を養う」ために、地域で活躍している中学生や高齢者、幼児の成長の様子がわかる写真などを多数掲載しています（第3号）。

特に意を用いた点や特色

資料 中学生が地域を支える!

若狭二戸市浄法寺町は、冬になると大雪が降り積もる地域です。一人暮らしのお年寄りや障がいのある人たちにとって、冬の間の雪かきは、大きな問題になっています。しかし、浄法寺町には、強力な雪かきボランティアがあります。その名も「浄法寺町スノーバスターズ」!

浄法寺町スノーバスターズは、浄法寺中学校の生徒、地域住民、二戸市社会福祉協議会の職員などが集まり、毎年雪が降り始める活動を開始します。1994年から始まったこの活動は、地域になくてはならない助け合いの活動になっています。

調べてみよう

地域の中で、中学生ができることを考えてみよう。

- 自分たちの地域で行われている活動を調べてみよう。
- 必要とされている活動や、これからやってみたい活動について話し合ってみよう。

児童館などでの交流、小学生への絵本の読み聞かせ、地域の祭りへの参加

▲地域を支える中学生 (p.28 / p.31)

図8 地域の人々や高齢者とかわる時のおもなマナーや、歩行の紹介

きんとあひさつをする。

介助するときは、声をかけてから行う。

何かお手伝いすることはありますか?

相手の目を見て、はきはと、はっきり話す。

相手の目を見て、はきはと、はっきり話す。

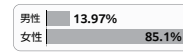
呼びかけは、名前を呼ぶ。

呼びかけは、名前を呼ぶ。

呼びかけは、名前を呼ぶ。

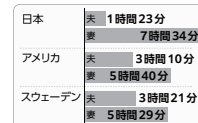
▲地域の人々や高齢者とかわる (p.30)

①育児休業取得率（令和3年度）



(厚生労働省「令和3年度雇用均等基本調査」より)

②1日の中で家事・育児にかける時間



※6歳未満の子もを持つ夫婦の場合 (内閣府「男女共同参画白書 平成30年版」より)

日本はアメリカやスウェーデンと比べて夫婦間の家事時間に大きな差があるけど、なんでだろう?

▲男女共同参画社会を目指す (p.19)

図5 地域で活躍する高齢者



▲地域で活躍する高齢者 (p.26)

1歳ごろ	2歳ごろ	3歳ごろ	4歳ごろ	5歳ごろ	6歳ごろ
身長 男子 74.9cm 女子 73.3cm	身長 男子 86.7cm 女子 85.4cm	身長 男子 12.03kg 女子 11.39kg	身長 男子 14.10kg 女子 13.59kg	身長 男子 102.0cm 女子 100.9cm	身長 男子 108.2cm 女子 107.3cm
体重 男子 9.28kg 女子 8.71kg	体重 男子 12.03kg 女子 11.39kg	体重 男子 14.10kg 女子 13.59kg	体重 男子 15.99kg 女子 15.65kg	体重 男子 17.88kg 女子 17.64kg	体重 男子 20.05kg 女子 19.66kg

▲幼児の成長がわかる資料 (p.42-43)

[B編 衣食住の生活]

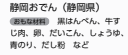
「伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養う」ために、だしを使った料理、浴衣の着付け、日本の伝統的な住まいなどを写真やイラストを用いて、わかりやすく掲載しています（第5号）。

特に意を用いた点や特色

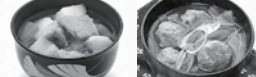
【各地の汁物や漬物の例】



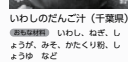
魚汁（埼玉県）
 魚の骨を煮た汁。大根、さといも、だいこん、にんじん、椎茸、しいたけ、油揚げ、みそ など



静岡おでん（静岡県）
 静岡産の大豆、はんぺん、芋、かつお、卵、だいこん、しょうゆ、酢のり、だし粉 など



三平汁（北海道）
 三平汁の汁。さけ、だいこん、にんじん、じゃがいも、こんぶ、ねぎ、塩 など



いわしのだんご汁（千葉県）
 いわし、ねぎ、しょうゆ、みそ、かたくり粉、しょうゆ など

▲和食の紹介（p.146）

浴衣を自分で着てみよう

一人で見ると難しいのは、はじめは家族や友達に手伝ってもらうとよです。

男性

- 背紐の位置
- 右の下のスリ先が左腰帯の位置になるように左脇に入れ、左の上帯を巻く。
- 腰ひもは前から後ろに回し、さらに前に回して結ぶ。巻いた部分は腰ひもにひもはさむ。

女性

- 背紐の位置
- 左の下のスリ先が右腰帯の位置になるように左脇に入れ、左の上帯を巻く。
- 腰ひもは前から後ろに回し、さらに前に回して結ぶ。巻いた部分は腰ひもにひもはさむ。

着付けのポイント

- 帯の結び方
- 帯の口
- 文庫結び
- おはしより
- 帯元を整え、スリを合わせ、腰の下でひもを結ぶ。背のしなは鞠のせきにくるようにはさむ。

▲浴衣を着てみよう（p.159）

▶日本の伝統的な住居（p.202）

日本の伝統的な住まい

各部の名称と意味

床の間
 季節や行事に合わせて、かけ軸や花を飾る場所。

障子
 薄い和紙をはっているので、閉じても外の光を取り入れることができる。

産箱
 西洋のテーブルと、床やたたみに座って食事をする日本の古くからの様式とが合わさって生まれた低いテーブル。

たたみ
 わらの床に、い草でつくったござを張った日本の伝統的な敷物。吸水性と保温性がある。たたみの裏につけられた布をたたみべりという。

ふすま
 木の骨組みに紙や布をはったもので、部屋の仕切りや扉に使用する。水平に開いて開閉する。

縁側
 部屋の外に出た縁側りの空間。通風のよさに使ったり、座って庭を眺めたりすることもできる。

産箱
 クッションとしての役割だけでなく、背もたれなどという作法で重要な意味をもつ。

[C編 消費生活・環境]

「環境の保全や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」ためにエシカル消費などについて取り上げました。「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う」ため、プラスチックごみ問題や食品ロスについて気づきを促す写真も多数掲載しています（第4号、第5号）。

「幅広い知識と教養を身につけ、自主及び自律の精神を養う」ために、インターネット販売やキャッシュレス決済などの今日的な題材も掲載しています（第1号、第2号）。

特に意を用いた点や特色



事例1
 世界全体では、使用済みのプラスチックの多くがごみとして捨てられ、リサイクルできていない。川や海に流れ込んでしまったプラスチックが、環境を汚染している。写真はプラスチックごみとクロウミガメ。



事例2
 まだ食べられるのに捨てられている食品が大量にあり、社会問題となっている（食品ロス）。写真は約135世帯3日分のごみから出てきた手つかず食品（令和2年度京都府家庭ごみ組成調査）。

▲プラスチックごみや食品ロス問題（p.258）

発展 ラナプラザの悲劇

2013年4月24日、バングラデシュの「ラナプラザ」のビルが崩壊しました。ビルの中には、先進国の大手企業の服をつくる縫製工場が入っており、1,100人以上の労働者の命が犠牲になりました。建物は違法な増築がくり返され、工場主は安全よりも、商品の生産性を優先し、労働者たちに仕事を続けさせていました。この事故により、先進国の大手企業の服づくりが、発展途上国の劣悪な労働環境や安価な労働力に依存していることが明らかになり、大きな議論を呼びました。

▲ラナプラザの事故（p.257）

クレジットカードによる買い物の仕組み

▶p.229の図4と、商品やお金の流れを比較してみよう。

① 売買取引
 消費者（カード会員）が商品を購入し、カード提示・サインなどを行う。販売店（カード加盟店）は、はい、わかりました。と応じます。

② 加盟店契約
 加盟店は、クレジット会社と契約し、手数料を支払う。クレジット会社は、代金を後払いする（銀行口座から引き落とし）。

③ 立替払契約
 クレジット会社は、代金を後払いする（銀行口座から引き落とし）。

▲クレジットカードと三者間契約（p.236）

スマートフォン・スマートウォッチなど 前即後

あらかじめクレジットカードや銀行口座の情報などをスマートフォンなどに登録しておき、支払いに利用する。

タッチ決済
 店に置かれた端末にスマートフォンなどをかざして支払う。

コード決済
 スマートフォンなどに表示された二次元コードなどを店が読み取る。または店が提示する二次元コードなどを読み取るなどして支払う。

◀キャッシュレス決済（p.235）

[巻末・生活の課題と実践]

「個人の価値を尊重して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ために、巻末には生活の中の課題を解決する実践として「生活の課題と実践」の課題例を掲載しています（第2号）。

特に意を用いた点や特色

自分たちでつくっただいこんをおいしく食べよう！

皆さんの取り組み

① 問題を発見する
 技術分野の授業で、だいこんを栽培しています。もうすぐ収穫時期になります。自分たちで育てただいこんをおいしく食べるためにどうしたらよいか、みんなで調べたり、調理したりすることにしました。

② 課題を設定する
 4つの班に分かれ、それぞれおいしい食べ方を調べ、食べ方を考えることにしました。

③ 計画・実践する
 班ごとに、それぞれおいしい食べ方を研究しました。だいこんの収穫後は、いろいろと教えてくださった地域の方々を学校に招待して、調理コンクールと発表の発表会を開くことにしました。

④ 評価する
 どの班もおいしい料理をつくることができ、みんな大満足でした。報酬に配属した調理として、皮や葉を使った料理も教えていただきました。ほかの班の料理も、今度つくってみたいですよ。

⑤ 改善する
 今回、だいこんをまるごと一本味わう料理について、調べたり、プロの方に話を聞いたりすることができました。次は、教わったことを家でも試してみたいです。

⑥ 次の課題へ
 家族のためにおいしくだいこん料理をつくる計画を立て始めました。家に持ち帰った切り干しだいこんの料理も工夫してみたいです。

◀技術分野との連携課題の例（p.270-271）

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

<p>① 現代的な課題への対応</p>	<p>グローバル化、少子高齢社会の進展、持続可能な社会の構築等の現代的な課題を見据えた題材を取り上げました。</p> <p>(p.256 フェアトレード／ p.27 高齢者とのかかわり方 など)</p>
<p>② 生徒の興味を惹く ビジュアル的な紙面</p>  <p>▲実物大の食材写真 (折込③ - ⑥)</p> <p>▶ビジュアル的に理解できる 衣服の役割写真 (p.152-153)</p>	<p>学習をより効率的に、実感を持って進めることができるように、幼児の表情のわかる写真や、実物大の食材写真など、生徒の興味を引くことのできる写真を多数掲載しています。</p> <p>文字の説明ではわかりにくい箇所は、イラストや図版を用いて生徒の理解をサポートできるよう工夫しています。</p> 
<p>③ ICT 教育への対応</p>	<p>知識・技能を確実に身につけられるよう、学習を補う自社作成コンテンツや関連ホームページをタブレット等から参照できる、二次元コードを掲載しました。</p>
<p>④ 地域社会との関連、 キャリア教育</p>	<p>生徒が将来社会で活躍する姿を想像できるように、管理栄養士 (p.49) や保育園の園長 (p.63)、消費生活センターの相談員 (p.231) など、地域で活躍しているさまざまな人からのメッセージを掲載しました。</p>
<p>⑤ 教員の働き方改革に対応</p>	<p>より学びを深めるために、ICT を用いて授業を効率化させるサポート資料や、観点別の評価がしやすくなる巻末の「学習のふり返し」などを用意し、生徒の学びをサポートすると共に、先生たちの授業準備を手助けします。</p>
<p>⑥ 人権意識を身につける</p> 	<p>性別や人種、年齢や障がいの有無などにかかわらず、協力・協働していくことができるよう、本文の記述に気をつけて制作しました。イラストや写真などにも十分配慮しています。</p> <p>(p.19 男女共同参画社会／ p.211 ユニバーサルデザイン など)</p>
<p>⑦ 特別支援への合理的配慮</p>	<p>特別支援教育をサポートする観点から、ユニバーサルデザインに配慮した教科書を作成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を精選して文章は簡潔に、文字量も抑えました。 ・UD フォントを使用し、ルビも大きく読みやすくしました。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しました。
<p>⑧ 文字・判型・紙の工夫</p>	<p>①写真や図などの資料が大きく見えて、なおかつ机の上で場所を取らない判型を追求し、AB 変型判を採用しました。</p> <p>②生徒の負担を考慮し、軽くてなおかつ裏写りしない紙を使用しました。書き込みにも適しています。</p>

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

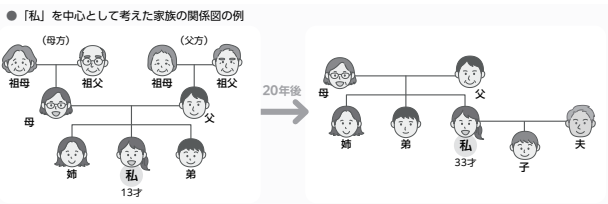
※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-75	中学校	技術・家庭	技術・家庭 (家庭分野)	1～3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
6・教図	家庭 006-72	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① つなぐ、つながる をテーマに内容を構成

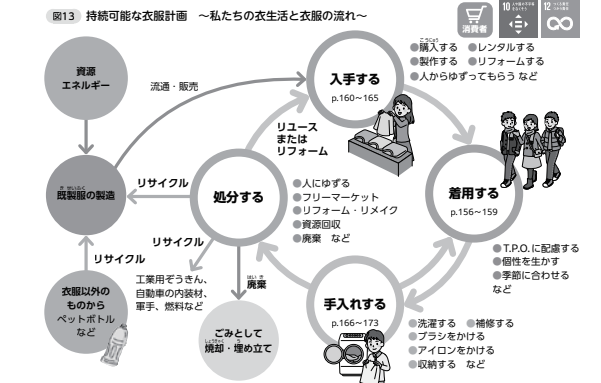
本教科書は、家庭分野の学びと私たちの暮らしをつなぎ、つながることで自立・共生して生きる力を身につける教科書です！

家族 × つなぐ、つながる



▲これまでとこれからの家族 (p.20)

消費者 × つなぐ、つながる



▲衣服のリサイクル (p.175)

地域 × つなぐ、つながる



▲協働の活動の例 (p.29)

環境 × つなぐ、つながる

やってみよう

1 あなたが普段の生活の中でできる「環境に配慮した行動」を、具体的にあげてみよう。

洗う 手や服を洗うとき、水をどうする？	温度の調整 室内でちょっと寒いと感じたときどうする？	ごみの処分 ごみを捨てるとき、どうする？	買い物 買い物をするとき、どのようなことを見つける？
-------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------

▲環境を意識した生活 (p.261)

伝統 × つなぐ、つながる

図27 「和食：日本人の伝統的な食文化」の4つの特徴

- 多様な新鮮な食材とその持ち味の尊重
- 健康的な食生活を支える栄養バランス
- 自然の美しさや季節の移ろいの表現
- 正月などの年中行事との密接なかかわり

▲和食を継承する (p.144)

学び × つなぐ、つながる

家庭分野の学習 はじめよう！

A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境

▲小学校の学びとの連携 (p.4-5)

② 課題の発見→解決への流れをサポート

(1) 授業展開しやすく、学びが定着する構成になっている

1 衣服の働きを知ろう

めあて ◎衣服の基本的な働きを理解する。

キーワード ◀保健衛生上の働き ◻生活動上の働き ◻社会生活上の働き

1日に何度を着替えているか。

教科書の各学習の流れは「**見つける**」で身近な気づきや疑問を促し、「**見つけてみよう**」で自分ごととして捉えます。

見つけてみよう

昨日1日で何回着替えたか思い出してみよう。また、制服の必要性について話し合ってみよう。

見つける

「**見つける**」で芽生えた気づきや疑問は、本文の「**学ぶ**」で解説し、「**振り返る**」ことで、知識・技能が定着します。

学ぶ 衣服の働き

衣服には、私たちが生きていく上で重要な働きがあります。衣服の働きには、おもに、保健衛生上の働き、生活動上の働き、社会生活上の働きの3つがあります(図1)。

振り返る

◎衣服の基本的な働きを理解できましたか。 はい いいえ

私学び

(2) 自立度を自分でチェック!

自立度チェック 自分の普段の食生活について、YES、NOで答えてみよう。

- 1 食事は1日3回、だいたい同じ時間に規則正しくとっている。…………… YES・NO
- 2 自分が1日にどのくらいの量の食品を食べればよいかを知っている。…………… YES・NO
- 3 食品を購入するときには、表示やマークを確認している。…………… YES・NO
- 4 包丁を使って野菜、果物の皮をむいたり、切ったりすることができる。…………… YES・NO
- 5 食器を洗うときは、環境のことを考えて使う洗剤の量をできるだけ少なくしている。…………… YES・NO

▶ 自立度チェックの結果について、友達や家族と意見交換してみよう。

各章の扉には自立度チェックを掲載。学習前に自分の状況をチェックし、学習後と比較することで学習効果を実感できます。

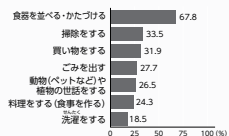
(3) 「考えてみよう」等のワークで、主体的・対話的な学びを実現

主体的に考えたり、話し合ったりするためのコラムです。より学習を深めることができます。

考えてみよう

家族の一員として、今後どのような家庭の仕事を行っていきたくか考えてみよう。

●家庭の仕事の分担の割合(中学生)



(東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学びに関する親子調査2015」より作成)

▲家事の役割分担 (p.19)

やってみよう

地域の食材を用いた和食の調理をしてみよう

地域または季節の食材や、だしを使った汁物や煮物の調理をしてみよう。つくりたい料理の材料やつくり方を調べ、実際に調理をし、レポートにまとめて発表してみよう。

つくりたい料理を探したり、材料やつくり方を探したりするときには、以下のページも参考にして考えてみよう。また、図書室の資料や、インターネットなども活用して調べてみよう。

- 関連
- ▶ p.95「生鮮食品の旬」
 - ▶ p.112~119「肉を調理しよう」
 - ▶ p.120~127「魚を調理しよう」
 - ▶ p.128~133「野菜を調理しよう」
 - ▶ p.140~141「地域の食材の例」
 - ▶ p.142~143「全国各地のおもな郷土料理」
 - ▶ p.145「和食に使われるさまざまなだし」の材料の例

なぜその食材が地域特有のものになったのか調べてみましょう。



地域の郷土料理(手打ちうどん)をつくる調理実習(神奈川県相模原市小山中学校)

▲地域の食材を用いた和食の調理 (p.146)

考えてみよう

あなたは次の商品を購入するとき、それぞれの販売方法(▶ p.232~233)や支払い方法を選ぶだろうか。理由もあげてみよう。

- ① ペットボトルのお茶 (150円)
- ② シャープペンシル (400円)
- ③ Tシャツ (2980円)

▲購入方法を考える (p.234)

(4) 領域同士の学習をつないで、生活の課題を解決します

巻末の「生活の課題と実践」では、異なる領域同士を組み合わせることで課題解決を図る事例を掲載しています。

8章 4節 「私たちの衣生活」の課題と実践

民族衣装について、家族や友達に聞いてみよう

結果さんの取り組み

関連 A編1章 「家族・家庭や地域とのかかわり」

- 1 問題を発見する

衣生活の授業の中で、和服について学習し、実際に浴衣を着ることができました。とても楽しかったです。

私の父は海外出身で、私たちのクラスには、海外出身の友達もいます。浴衣の実習の後の話し合いで、和服だけでなく、私の父の出身の国や、その国の民族衣装についても知りたいたい、見てみたい、着てみたい、などの意見が出ました。
- 2 課題を設定する

私の父の出身地の民族衣装について、理解を深めたり、実際に着たりすることができないか、調べたり、計画を立てたりすることにしました。

インドのサリー
- 3 計画・実践する

次のような計画で、実践することになりました。

 - 1 いろいろな国の民族衣装について、図書館やインターネットなどで調べる。
 - 2 私の父や、地域に住んでいる海外出身の方をゲストティーチャーとして中学校に招き、民族衣装についてのお話を聞いたり、実際に見せてもらったりする。
 - 3 調べたことや、わかったことなどについて、ポスターにまとめる。
- 4 評価する

私の父や、地域の方の協力で、それぞれの国の民族衣装の由来や、昔からの工夫などについて知ることができました。私の父も、クラスでの取り組みをとて喜んでくれました。ほかの学年の人たちにもポスターを見てもらって、うれしかったです。

中学校の近くに、大学があります。留学生の方をたくさん見かけるので、交流する機会を探してみたいです。
- 5 改善する

民族衣装のことだけでなく、父の出身地の食文化や、住まいの文化についても知りたいたいと思いました。また、地域にはたくさん海外出身の方々が住んでいるので、その方々の国の文化についても、いつか聞いてみたいと思います。
- 6 次の課題へ

地域に住んでいる、さまざまな国の方々を中学校に招待し、異文化交流会を開いてみたいです。そのときは、授業で学習した浴衣の着方を紹介したり、和食を味わってもらったりしてみたいです。

簡単にできておいしい和食を、いっしょに調理するのもいいかも?

▲課題と実践 (p.270-271) … 「私たちの衣生活」と「家族・家庭や地域とのかかわり」を組み合わせた例

③ 体験・実践的な学びを通じて、実感の伴った知識・技能が身につく

(1) 工夫する力が身につく豊富な実習題材

【衣服実習の例】

実習例 2 私の防災袋

めあて ● 目的に合った大きさの防災袋を作ることができる。

材料・分量

- 布(ブロード、ギンガム、ソフトデニムなど)
たて：120cm よこ：45cm (サイズの調整は下欄参照)
- ポケット用 たて33cm よこ40cm × 2枚
- ひも100cm以上(好みで)
- かばんテープ 2.5cm幅×3m
- バックル：2セット(ひも止めありのもの (右図参照))

▲防災袋 (p.188)

【調理実習の例】

ハンバーグステーキ

① 厚みのあるものに火を通すには？

※厚みのあるものの中ほどまで火を通す煮き方を理解し、焼くことができる。
※ひき肉に関する材料の役割を理解する。

② 肉の厚さを調整する

※肉の厚さを調整する

③ 肉の厚さを調整する

④ 肉の厚さを調整する

▲ハンバーグ (p.116)

【幼児とのふれ合い実習の例】

実践 さまざまなふれ合い

▶保育所や幼稚園、認定こども園などでのふれ合い
保育所や幼稚園、認定こども園などの施設では、幼児が、
保護者と離れて集団生活を送っています。職員の方々の
幼児への接し方や、幼児が安全に過ごせるように工夫さ
れた部屋、施設の観察などもしてみましょう。

小まめにふれ合い
※幼児のふれ合い

手をのびて遊ぶ
※幼児のふれ合い

お話を聞いて
※幼児のふれ合い

つまずいたら！
※幼児のふれ合い

保護士さんとおもちゃのふれ合い
※幼児のふれ合い

▲幼児とふれ合う (p.62)

つくりたい防災袋の大きさを考えてみよう

●何を入れるか？

- 非常用持出袋の中に何を入れておくか？
- 必要最低限の着替え(下着など)は？
- 家族の状況に合った内容か？

●入るサイズの袋を考える

●私のつくりたい袋の大きさ

A	cm
B	cm
C	cm

●チェックポイント

- 物を入れて、口が閉じるか？
- 物の出し入れがしやすいか？
- 背負いやすいか？

▲衣服実習の工夫 (p.188)

⊕ 工夫し、解決する力を身につける！

私のアレンジ

寒い日にぴったり
(煮込みハンバーグ)

カルシウムをプラス
(チーズハンバーグ)

▲調理実習題材の工夫 (p.117)

●豊かな表情や、身振り手振りで話す。

✕ 幼児の写真を手元に撮ったり、ふれ合いを通して知った幼児の情報を授業以外の場で話したりしない。

●幼児同士で遊んでいるときは、タイミングを考えて加わる。

▲ふれ合い実習の工夫 (p.59/60)

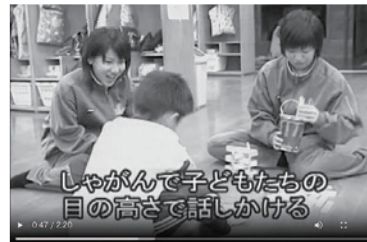
(2) 実習ができないときや、予習・復習に活躍する動画

【調理実習動画】



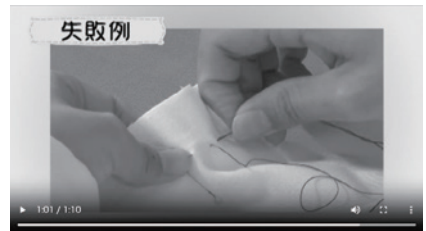
調理の基礎から、各実習レシピの工程まで、調理の動画が盛りだくさん。実習前に動画を見ると、学習がはかどります。

【ふれ合い実習動画】



実習が難しいときも、動画で疑似体験することで、イメージを共有することができます。

【衣服製作動画】



手縫いからミシン縫いまで、基礎をふり振り返りながら学べる動画で学びをサポートします。



(3) 体験的な学びをサポートする二次元コードのワーク

▲献立バランス計算ソフト

家庭分野の学習に興味をもってもらえるよう、二次元コード先にさまざまなコンテンツを用意しています。



その他の特色

<p>内容・構成</p>	<p>①学習指導要領の各内容の各項目について、指導事項ア・イの順に沿ってページを配列し、学習指導要領の構成が透けて見える教科書にしました。</p> <p>②学習指導要領のA～Cの内容のうち一以上の項目を選択する「生活の課題と実践」について、複数の項目を組み合わせた課題例を巻末にまとめて示しました。</p>
<p>主体的・対話的で深い学びへの対応</p> <p>やってみよう 話し合ってみよう</p> 	<p>①「やってみよう」「話し合ってみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学習できるワークを多数掲載しています。</p> <p>②生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるように、課題解決学習に取り組む際、身につけた知識・技能にフィードバックできる課題設定のヒントを示しました。</p>
<p>課題解決学習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題を発見する 2 課題を設定する 3 計画・実践する 4 評価する 5 改善する 6 次の課題へ 	<p>①すべての内容を、課題解決学習の流れで構成しています。</p> <p>②学習指導要領の各指導事項イにあたる「学びを生かそう」や、「生活の課題と実践」では、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップを統一しました。</p>
<p>評価の観点の取り扱い</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 確認しよう 知識・技能 2 考えてみよう 思考・判断・表現 3 自分の言葉でまとめよう 主体的に学習に取り組む態度 	<p>各章末の「学習のふり返り」では、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点で評価できるように構成しました。</p>
<p>各教科や小学校、高等学校の学習との関連、カリキュラムマネジメント</p> 	<p>生徒が見通しをもった学習ができるよう、各教科や小学校、高等学校との学習の関連を「関連」マークで示しました。</p>
<p>科学的な視点</p>	<p>学習内容を覚えるだけでなく、原理原則を知るための科学的な視点を多く取り入れました。なぜその現象が起こるのか、なぜそうしなければならないのかを知ることで、より学習が定着します。</p>

2. 対照表					
図書の構成・内容			該当箇所	学習指導要領の内容	配当時数
家庭科のガイダンス			口絵 11-p.7	A(1) ア	1
A編 家族・ 家庭生活	1章	1 家族の一員としてできることを考えよう 2 家族関係をよりよくする方法を考えよう 3 高齢者とのかかわりを知ろう 4 家庭生活と地域のかかわりを知ろう 「家族・家庭や地域とのかかわり」について考え、工夫する	p.14-19 p.20-25 p.26-27 p.28-31 p.32-33	A(1) ア / A(3) ア(ア) A(3) ア(ア) / A(3) イ A(3) ア(イ) A(3) ア(イ) A(3) イ	8
	2章	1 幼児の体の発達を知ろう 2 幼児の心の発達を知ろう 3 幼児の生活習慣の身につけ方を知ろう 4 幼児の生活の特徴を知ろう 5 幼児の遊びと発達のかかわりを知ろう 6 幼児の発達を支えるおとなの役割を考えよう 7 幼児とふれ合ってみよう 「幼児の生活と家族」について考え、工夫する	p.36-39 p.40-43 p.44-45 p.46-49 p.50-55 p.56-57 p.58-65 p.66-67	A(2) ア(ア) A(2) ア(ア) A(2) ア(ア) A(2) ア(ア) A(2) ア(イ) A(2) ア(ア) A(2) ア(イ) A(2) イ	11
B編 衣食住の 生活	1章	1 食事の役割を考えよう 2 健康によい食習慣について考えよう 「健康と食生活」について考え、工夫する	p.70-73 p.74-77 p.78-79	B(1) ア(ア) B(1) ア(イ) B(1) イ	3
	2章	1 栄養素の種類と働きを知ろう 2 中学生に必要な栄養の特徴を知ろう 3 食品に含まれる栄養素を調べよう 4 1日に必要な食品の種類や概量を知ろう 5 1日分の献立を考えよう 栄養バランスのよい、1日分の献立を考えてみよう	p.80-81 p.82-83 p.84-85 p.86-89 p.90-91 p.92-93	B(2) ア(ア) B(1) ア(イ) B(2) ア(ア) B(2) ア(イ) B(2) ア(イ) B(2) イ	9
	3章	1 食品の選択と購入について考えよう 2 購入した食品を適切に保存しよう 3 調理の基礎を知ろう 4 肉を調理しよう 5 魚を調理しよう 6 野菜を調理しよう 7 地域の食文化を知ろう 8 和食の調理を試みよう 「調理と食文化」について考え、工夫する	p.94-99 p.100-101 p.102-111 p.112-119 p.120-127 p.128-139 p.140-143 p.144-147 p.148-149	B(3) ア(ア) B(3) ア(イ) B(3) ア(イ) B(3) ア(ウ) B(3) ア(ウ) B(3) ア(ウ) B(3) ア(エ) B(3) ア(エ) B(3) イ	17
	4章	1 衣服の働きを知ろう 2 目的に合わせて自分らしく着よう 3 自分に合った衣服を手に入れよう 4 衣服の手入れをしよう 5 衣服を計画的に活用できるようになろう	p.152-155 p.156-159 p.160-165 p.166-173 p.174-175	B(4) ア(ア) B(4) ア(ア) B(4) ア(ア) B(4) ア(イ) B(4) ア(イ)	9
	5章	1 布を使ってつくってみよう 「私たちの衣生活」「生活を豊かにする製作」について考え、工夫する	p.176-193 p.194-195	B(5) ア B(5) イ	6
	6章	1 住まいの働きを知ろう 2 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう 3 健康を守る室内環境の整え方を考えよう 4 家庭内事故から家族を守ろう 5 災害に備えた安全な住まい方を考えよう 「私たちの住生活」について考え、工夫する	p.198-203 p.204-207 p.208-209 p.210-213 p.214-217 p.218-219	B(6) ア(ア) B(6) ア(ア) B(6) ア(イ) B(6) ア(イ) B(6) ア(イ) B(6) イ	9
C編 消費生活・ 環境	1章	1 買い物を取り返してみよう 2 契約の意味を考えよう 3 いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう 4 消費者トラブルを防ごう 5 消費者を守る仕組みを知ろう 「私たちの消費生活」について考え、工夫する	p.222-227 p.228-231 p.232-237 p.238-241 p.242-245 p.246-247	C(1) ア(ア) C(1) ア(イ) C(1) ア(ア) C(1) ア(イ) C(1) ア(イ) C(1) イ	7
	2章	1 消費者の権利について考えよう 2 消費者の責任について考えよう 3 消費生活が社会に与える影響を考えよう 4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう 「消費者の権利と責任」について考え、工夫する	p.248-249 p.250-251 p.252-257 p.258-261 p.262-263	C(2) ア C(2) ア C(2) ア C(2) ア C(2) イ	5
生活の課題と実践			p.266-275	A(4) ア / B(7) ア / C(3) ア	2.5
				計	87.5

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-75	中学校	技術・家庭	技術・家庭 (家庭分野)	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
6・教図	家庭 006-72	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項		ページ 数
口絵 9-10	世界の衣食住	2	B (3) ア (エ)	地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。	2
			B (4) ア (ア)	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。	
			B (6) ア (ア)	家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。	
53	幼児の大好きな、ごっこ遊びを 見てみよう	2	A (2) ア (イ)	幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること。	0.25
			A (2) イ	幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。	
64-65	子どものすこやかな成長のために	2	A (2) ア (ア)	幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。	2
			A (2) イ	幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。	
147	味といっしょに楽しもう ～地域の伝統的な器～	2	B (3) ア (エ)	地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。	0.25
207	マンガやアニメの主人公は、 どのような住まいで暮らしているの？	2	B (6) ア (ア)	家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。	1
256	フェアトレードのチョコレートで 児童労働をなくす	2	B (2) ア	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。	0.75
			B (2) イ	身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。	
257	ラナプラザの悲劇	2	B (2) ア	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。	0.5
			B (2) イ	身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。	
				合計	6.75

「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する

学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容 … 1

学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容 … 2